

トップ・クリエイターの感性に応える 家具用仕上材「ファニチャーリノリウム」

フォルボ・フロアリング
ご導入事例紹介 vol.7

株式会社 cosmos (東京都新宿区)

株式会社 cosmos は企業ブランディング、CI・VIを始め、パッケージやグラフィックデザイン、そして空間デザインに至るまで国際的に活躍の場を広げています。

2018年8月の事務所移転に際し新設したワークテーブルの天板に、家具用に開発されたファニチャーリノリウムをご採用頂きました。内田氏が現在取り組まれている仕事とファニチャーリノリウム採用の経緯・感想についてうかがいました。

株式会社 cosmos の業務の特徴と取り組みについて お聞かせください。

今迄手掛けてきたデザインやアートの分野をベースに、ブランドや商品を単なる製品や包装のデザインという表に見える形だけでなく、それを送り出す企業や創り出す人の心・情熱をアピールするための総合的なブランディングを行うことで、より高い付加価値や魅力を受け手に伝えていきたいという想いで取り組んでいます。

数々の店舗や商品のデザインを始め、全国各地の地場産業ブランディング、イベントの空間演出など広範な業務に携わっています。

また専門学校などで同じ道を進まれる方々へ教育、ライフワークであるアート創作活動にも積極的に取り組んでいます。



株式会社 cosmos
代表取締役
内田 喜基氏



白を基調とした明るいオフィス中央に据えられたワークテーブル。
(家具製作：株式会社 Rat Make)

「ファニチャーリノリウム」をお知りになった 経緯についてお聞かせください。

知人からご紹介頂いた KiNaKo 建築デザインスタジオの木上奈都子氏と杉本渉氏に、新たな事務所のデザインに参画していただくことになりました。(オフィス施工：株式会社悠和・現場監督 村上一斉氏)

様々な素材を検討した中で、ファニチャーリノリウムを新事務所のワークテーブルの天板としてどうかと言う提案を受けました。

私自身もフォルボのホームページを見たり、実際にサンプルを手に取りその色や質感を確認しました。



ワークテーブルトップ採用品番：ファニチャーリノリウム ASH 4132

導入の決め手となったポイントをお聞かせ下さい。

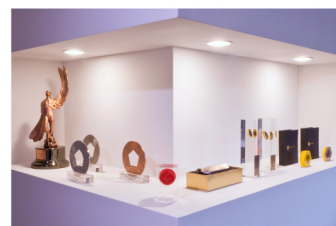
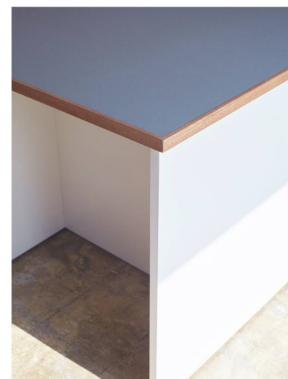
我々はアイデアスケッチや作品をワークテーブルの上に並べたり壁に掲示するのですが、テーブルトップは白でもなく、黒でもなくニュートラルなグレーが望ましいと思っていました。

ひとくちにグレーと言ってもさまざまな種類があります。

仕事柄色へのこだわりがありますが、やはり選択肢の幅があるという事は良い事だと思います。建材の色や柄と言うものは仮に定番商品があったとしても、それを引き立たせるための脇役的な色があるからこそ、主役=定番が生きてくるのだと思います。

そういう意味で、バリエーションが豊富にあるという事もその商品の価値、魅力をより高めるとともに我々クリエイターにとってありがたいことです。

特に天然素材の暖かく、柔らかい質感、指紋がつかないことなど、ワークテーブルには最適な素材だと思い、採用しました。



国内はもとより海外でも活躍の場を広げ、数々の賞を受賞。